

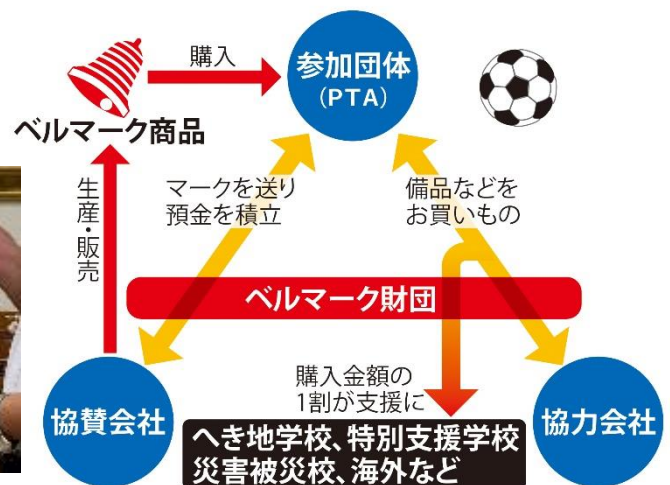
「ベルマークの寄贈」

230929

昨日、9月28日（木）に町内の深溝にあるマリンスポーツ関連の企業である「株式会社JSP」の担当者の方が幸田中学校を来校され、会社の従業員の方々が集めてくださったベルマークを寄贈してくださいました。幸田中学校の生徒会にベルマーク委員会があり、収集活動に取り組んでいることを知り、ぜひ幸田中学校で役立ててもらいたいと持ってきてくださいました。

ベルマークを集めることは、とても根気のいることです。「協賛会社」という会社が商品に付けているベルマークを、それぞれの包装紙から枠に合わせて綺麗に切り取って保管していく。つつい切り取り忘れてしまったり、せつかく集めても紛失してしまったり…。まとまった枚数のベルマークを集めることは、とても大変なことなのです。

幸中生のことを思っの好意に感謝し、自分に、自分たちにできることで恩送りをしていきたいなと思いました。



ベルマーク運動の仕組みと流れ

ベルマーク運動には、2つの機能があります。「協賛会社」が商品に付けているマークを登録参加のPTAや公民館などが集め、整理・計算して財団に送ると1点が1円に換算されてベルマーク預金になります。その預金で、自分たちの学校に必要な設備・教材が「協力会社」から購入できます。すると、その購入金額の10%が自動的にベルマーク財団に寄付され、へき地の学校や特別支援学校、災害で被災した学校への支援、アジアの子どもたちを助けるNPOへの支援など、さまざまな教育援助活動に使われます。